



東風

さいたま市立与野東中学校 学校だより

No.3 令和元年5月31日発行

「あい」があふれた「校歌斉唱」

校長 佐藤 和男

「与野東中の子どもたちは、本当に素晴らしい！」

この思いを実感できたのが、先日の5月11日（土）に実施した東風体育祭です。当日は、日差しが強く、気温が上昇し、熱中症などが心配されましたが、安全と健康面に十分配慮しながらプログラムを進めました。お陰様で、大きな怪我や事故もなく終了することができました。保護者や地域の皆様には子どもたちの真剣に取り組む姿に対して、大きな声援をたくさんいただきました。さらに、PTA役員の皆様には、朝早くから、受付、会場係、来賓接待、自転車置き場等でお手伝いをいただきました。本当にありがとうございました。

学校をリードする3年生が中心となって、子どもたち自身でつくり上げ、運営していた、素晴らしい体育祭となりました。各クラスで作成した「応援旗」も制作期間が短かったにもかかわらず、力作ぞろいでした。さらに感動したのは閉会式で歌った「若者よ、ふるい立て立て！」で始まる校歌斉唱です。3年生の体育委員がリードして、全校生徒が自分の出せる声を最大限に出して、元気良く、はつらつと歌ってくれました。その場にいた、来賓や保護者の皆様にも感動を与えてくれました。会場にいた人たちが笑顔になり、清々しい気持ちになりました。どんなことであっても、子どもたちが真剣に一生懸命取り組む姿は感動に値します。教員をやっていて本当によかったと思える瞬間です。まさしく、「助けあい」「協力しあい」「励ましあい」「学びあい」「失敗を認めあい」等の「あい」のあふれる活動が体育祭の様々な場面で展開されました。

さて、6月は、さいたま市教育委員会が設定している「いじめ撲滅強化月間」です。市立の全小・中・高等・特別支援学校において、いじめの問題について考え、いじめが起きない学校を作ろうとする意識を高めます。その中で、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育む取組の充実を図るなど、いじめの未然防止に向けた取組を推進します。与野東中学校では、各クラスのいじめ撲滅スローガンを作成し、生徒会や学級委員会が中心となって、いじめが無い学校を目指します。さらに家庭・地域と協力し、粘り強く取組んでいきたいと思えます。

話は変わり、6月1日（土）からは、3年生にとっては最後の公式戦となる、さいたま市中学校総合体育大会がはじまります。この大会は、県大会、関東大会、全国大会につながる重要な大会です。また、3年生にとっては最後の公式試合になります。先日、全校生徒が体育館集まり、運動部壮行会・文化部激励会を行いました。各部活動の部長が、今までの成果を十分に発揮し全力で大会やコンクール等に臨む決意を発表してくれました。どの部活動も日頃の練習成果が発揮できるような、大いなる健闘を祈りたいと思えます。

フー！フー！与野東中！

